

### (3) 邑知・余喜地域

#### ア. 景観特性・課題

- 中山間地では、棚田や農（山）村集落の良好な自然景観を形成していますが、過疎化などにより自然と調和した集落の景観維持の困難化が進んでいます。

神子原の棚田



農村集落地（山間部）



- ・ 神子原地区は、山あい立地する農（山）村集落ですが、地形的には散らばって住む散村集落の形態を残した景観を形成しています。
  - ・ 山間部の棚田などの風景には、なつかしさを感ず、心がなごみます。
- 邑知潟と干拓、ほ場整備された邑知平野と眉丈山系を望む眺望は、緑豊かで雄大な自然景観です。しかし、近年では減反政策から畑地とする田も増え続けています。稲田とともに景観の保全が必要です。



邑知平野

- ・ 邑知潟に架かる邑知潟大橋からの眺望は、邑知潟周辺の豊かな自然景観を感じさせてくれます。

## ○ 住宅地（集落）

豊かな自然の中に点在する、郷土色豊かで緑に囲まれた集落景観があります。

農村集落（平野部）



アズマ建ちの家



・平野部の農村集落では、大きな敷地内にアズマ建ちなどの農家住宅と蔵が多く残っており、寺社があり、その間を用水が流れる典型的な農村集落の景観を形成しています。



酒井町地内

・碁石ヶ峰の西北斜面の集落では、山際より多少距離を置いて立地しています。ところどころ、谷筋を小河川が流れているところは、河川に沿って住宅が建ち並ぶ景観を形成しています。



飯山町地内

・飯山町は、かつての内浦街道の宿場町として発達し、町家が道路の両側に建ち並ぶ「両側町」の形態がみられますが、その宿場町の面影を残す町並み景観が少なくなってきました。

## ○ 国道沿線

国道159号は、羽咋市の大動脈として重要な道路であって、道路の両側に住宅や店舗などが建ち並んでいます。しかし、近年交通量が増え、歩行者などの安全性が問われ、バイパスの整備が着手されようとしています。周辺環境に配慮した道路整備が望まれます。



国道159号沿線  
邑知郵便局付近の渋滞状況

- ・多くの箇所が通学路指定されるなど、生活に密着した道路として、特に子供やお年寄りが日々、危険と背中合わせで暮らしています。

## ○ その他

永光寺と永光寺川



- ・歴史的な建造物である永光寺の自然の四季やその周辺の川沿いでは、その河川と遊歩道がその周辺の自然と調和した整備が実施され、優れた水辺景観と歴史的・文化的景観を形成しており、今後もこの景観の保全が必要です。

碁石ヶ峰からの眺望



邑知潟大橋



・碁石ヶ峰の樹木の切れ間から、町なみや邑知平野、眉丈山系、日本海を一望できますが、整備されたビュー・スポットがありません。ゆっくりと安心して眺望のできるビュー・スポットなどの整備が必要です。

また、その一部から放棄された繊維産業の朽ちた建物が見え、景観的にも安全面からもその解体が望まれます。

・邑知潟に架かる邑知潟大橋からの眺望は、邑知潟周辺の豊かな自然景観を感じさせてくれます。また、美しい曲線の橋のデザインは、周囲に独特の景観を醸しだしています。



邑知の郷公園

・市民農園広場もありますが、全体としての活用がされていません。また、雑然としており、再整備計画が必要です。

## イ. 石川県景観総合計画の位置づけ

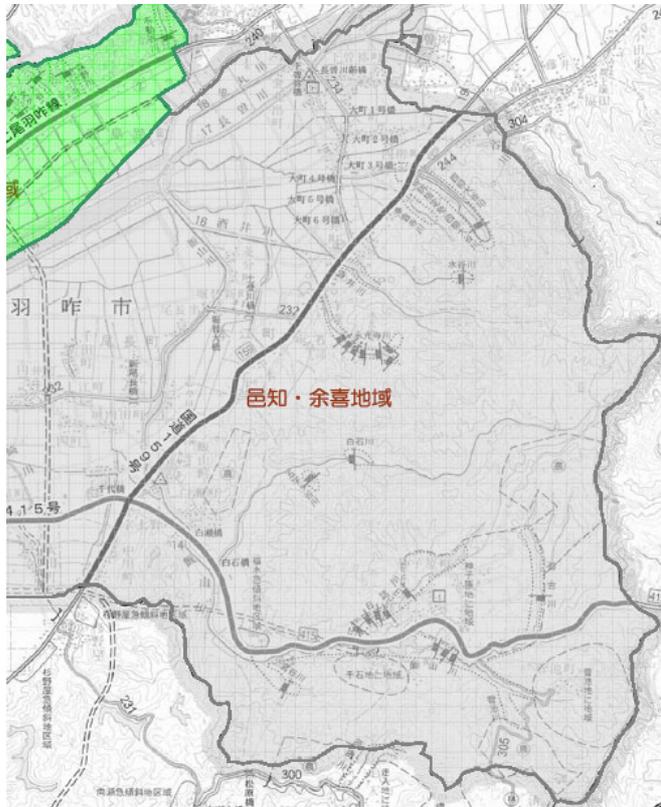


図 石川県景観計画 邑知・余喜地域  
(74 頁参照)



本地域の全域について景観エリアに指定され、緩やかな規制誘導を行い、景観形成を図るとしています。

## ウ. 景観まちづくりの目標

### 目標 1：美しい集落景観を維持する



手入れの行き届いた住宅と庭木

- ・農村集落地区の景観は、個人の建物や敷地利用により構成されています。建物や農地の適切な管理はもとより、生垣の手入れ、敷地際のゴミの掃除、あぜ道の雑草刈など、地域に住む生活者の日々の維持管理の積み重ねによって支えられています。
- ・新たな建物を建てる際には、個々の建物の意匠を工夫する、自然素材を積極的に取り入れる生垣や庭木を配置することなどが望まれます。

・その一方で、農業の衰退や集落住民の高齢化や過疎化によりその維持や管理を持続することがむずかしくなっています。これらの大切さを市民の共有認識とし、みんなで支えていく仕組みなどを検討することが必要です。

## 目標 2：優良な自然・田園空間を保全する



・神子原などの中山間地は、地形の起伏を活かした棚田、山あいの集落内の畑と農家住宅と背後の山林など、地形や自然条件

などに根ざして景観が形成されています。

また、邑知潟の周囲に広がる邑知平野は水の恵みを意識することができる豊かな自然と田園の景観が形成されています。

これらを羽咋の魅力を象徴する景観と捉え、可能な限り保全し後世に残していくことが大切です。

## 目標 3：周辺の田園集落や緑になじむ沿道の景観づくり

国道 159 号バypassの整備予定のある沿線



・国道沿線では、広告が大きく派手な色づかいとなる傾向があります。特に、今後道路整備される予定である沿道などにおいては、建物や屋外広告物などデザインを工夫し、周辺の農村集落や緑と調和した沿道景観づくりを進めることが大切です。

## 目標 4：地区の歴史資源を尊重する



豊財院

・永光寺や豊財院など集落の文化に基づいた建物は、地域の歴史を物語る貴重な資源です。また、数多く点在する寺社地やその境内の樹木や祠などは、地域に親しまれてきた貴重な財産です。

・これらを地域の財産として積極的に保全活用するとともに、寺社の参道周辺などでは建物の建て方を工夫するなど、歴史的資源を尊重した景観づくりが求められます。